

畫圖西遊譚

伍

第一卷

共五

ル 3
28
5



西遊旅譚卷之五

正月八日平戸島を渡りて田比羅の渡一里夫たり御厨

三里又り幸一里にして洞川と云ふ社人の尊舎あり其

の山中之此汝海岸と云ふて風景とて洞川よりいり

一里志作村と云ふとて人今福、二里と云ふとていり

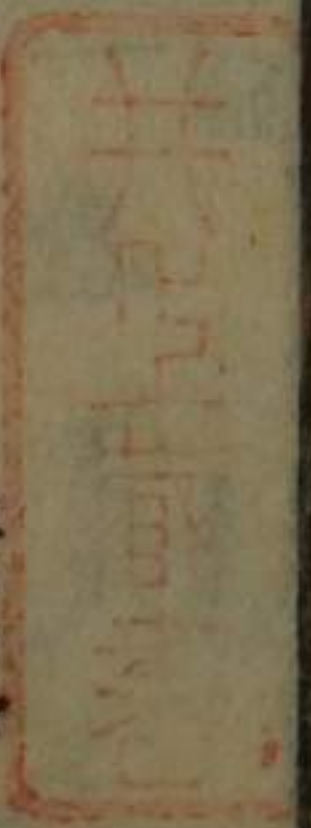
ありと云ふとて久原と云ふて四里なりとて入海と云ふとて

三里伊美里に嘉多と云ふ此やとて鋸島度の領地と云ふ

焼あくと云ふ大河内山有白山此山中と云ふ焼あくと陶器

日本國中にいり

る道



百五十五

門 呂 3  
 第 28  
 卷 1

東京 東門  
 築山 圖



十日風香...  
 此山多...  
 山の半に...  
 唐津と伊万里...  
 新羅...  
 徳来...  
 三里...  
 所...  
 山...





十日徳末と登りてより二里半言  
 井村にあり吉井川に渡りて  
 あり西の唐津の城海津と  
 濁りていふ水野彦六の  
 石ノ城下なり又より一里  
 半海江にあり二里とるる前  
 糸とて山あり此山は雷山の  
 下とて山の下に唐画の  
 ありに雪に降るに  
 不動堂あり又滝あり

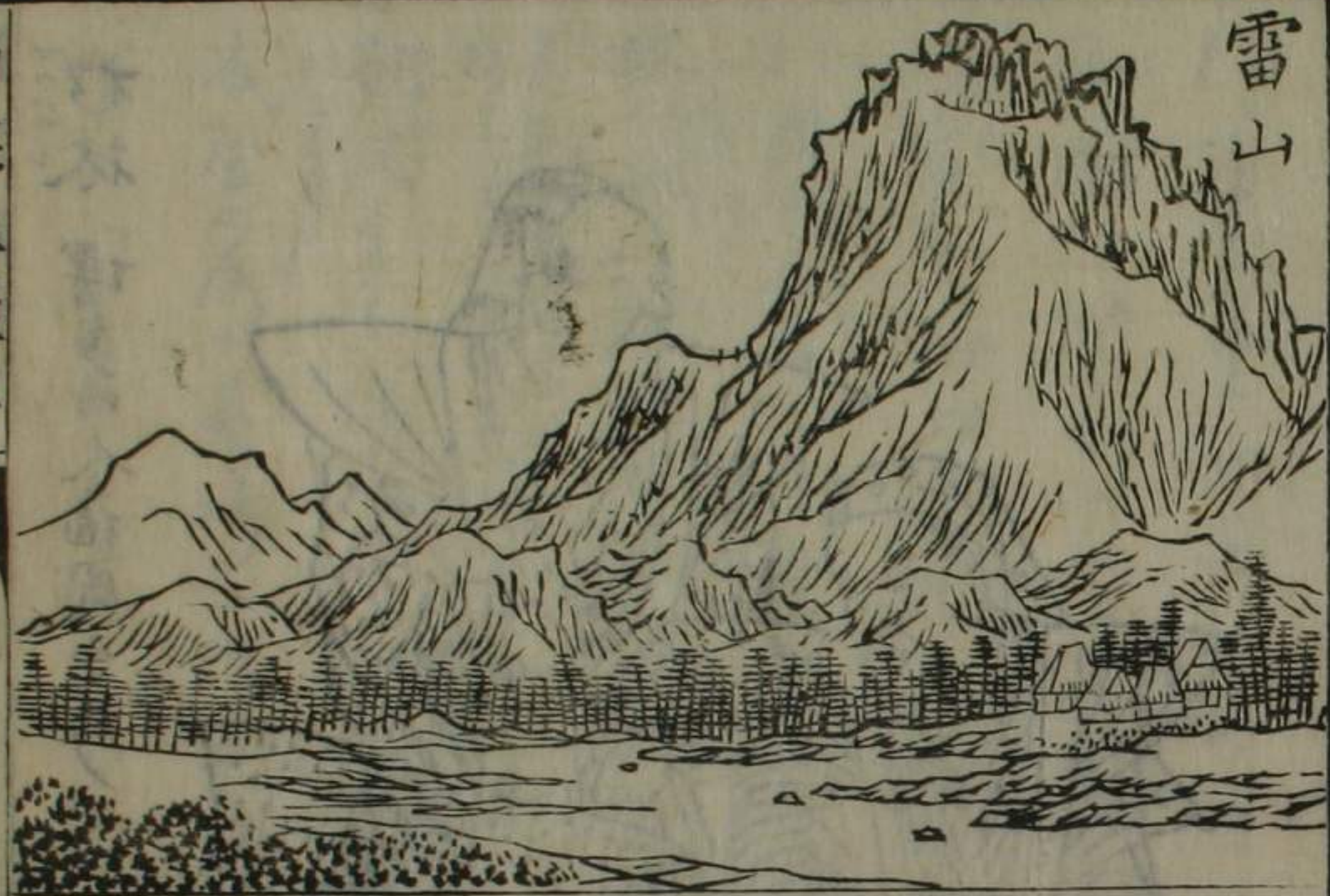
十二日あふをゆりて二里今福にあり二里ハ  
 好の深しといふ可<sup>イ</sup>以<sup>ト</sup>家<sup>イ</sup>境<sup>ツ</sup>一里とれハ福岡あり  
 夫よりゆりて里博多より富高多<sup>フシヤク</sup>  
 西の方海より南ハ山より暖<sup>ダン</sup>あり橙<sup>ダイ</sup>あり植<sup>ウエ</sup>常に  
 風吹石斛<sup>ヒキコノ</sup>ありつら山谷あり又石炭<sup>イシムシ</sup>をゆり  
 正月十五日此地にあり松林ありとてありぬありあり  
 戸こしに雨<sup>アメ</sup>ありぬありあり博多町人<sup>ハカタ</sup>林<sup>ハヤシ</sup>の  
 肩衣<sup>カタク</sup>とて名<sup>ナ</sup>下<sup>シモ</sup>ハ裁<sup>サイ</sup>付<sup>ツケ</sup>とてありて足<sup>アシ</sup>手<sup>テ</sup>裁<sup>サイ</sup>とてあり  
 改<sup>カ</sup>更<sup>ヘ</sup>中<sup>ナカ</sup>とて裁<sup>サイ</sup>草<sup>クサ</sup>鞋<sup>セウ</sup>とてあり福岡の城<sup>シロ</sup>あり入<sup>イ</sup>玄<sup>ゲン</sup>関<sup>カン</sup>あり

酒とのみくす是と山林とを以て所謂たゞの  
博多ハ唐船の渡海し今所を以て福岡の  
領地を以て故を以て今所を以て福岡の  
或所を以て出た梯田の祠博多第一の大社なり柳町  
とて色町なり

十六日博多と出て筑前守里を以ての宿を以て入  
崎ハ幡夫より筑前守里を以て青柳と云ふ四里此所海に  
アキシヤノコノ島ノ早住又山中ニ入二里とて一畝町と云ふ



雷山



モロミ河ニカ  
橋七千間余

作賀山  
筑前山

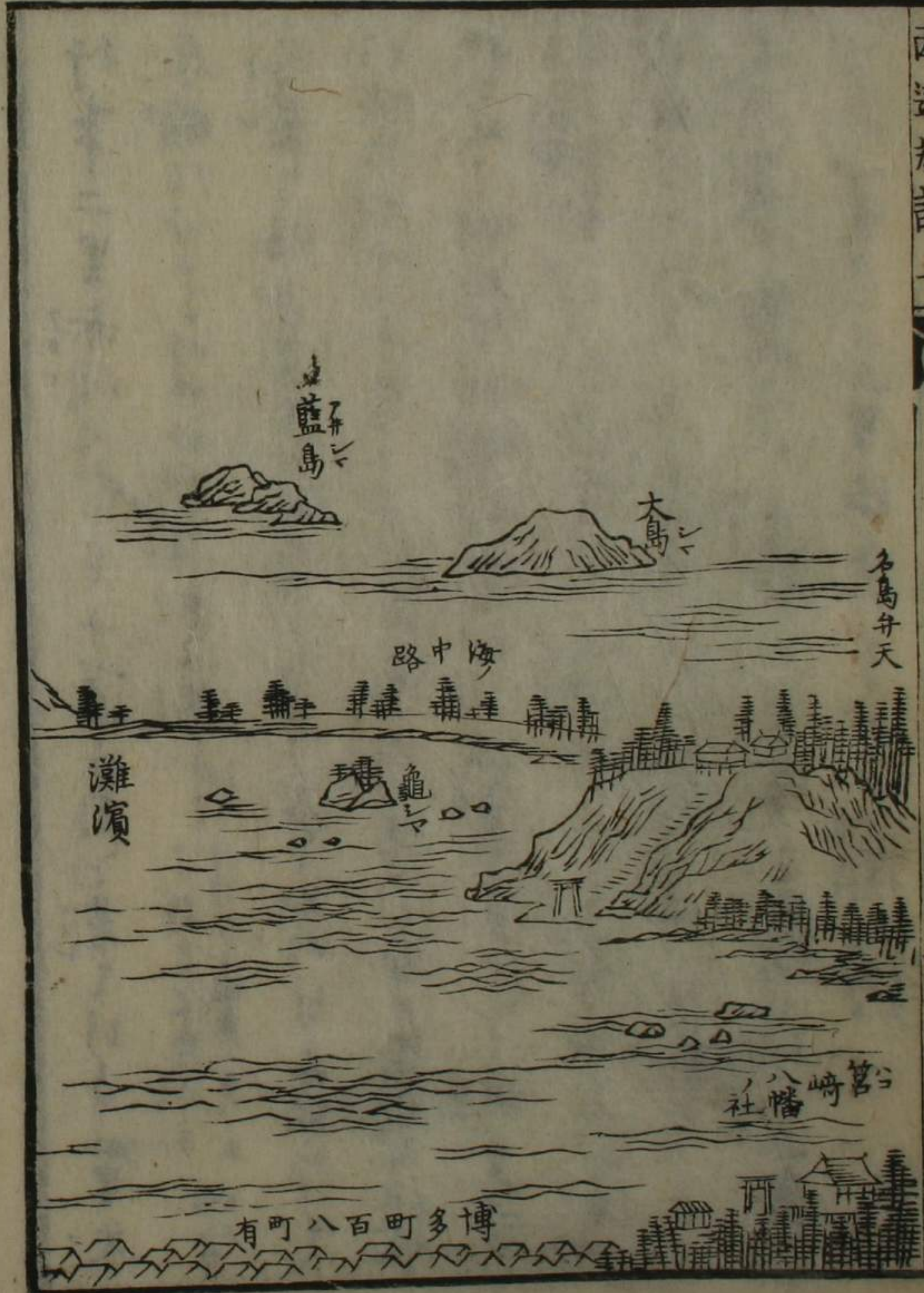
船



松林 博多町人福岡あり



行事二里赤間アカマに宿ヤドと十七日赤間と暮ハツレりり四里本  
 屋瀬ヤノセに宿ヤド此後田畑タテ原ハラに熟マクり  
マナ語名光白足ナリ  
丹頂ハナシ蝦夷ニ多ト云 此を  
 石炭セキタンと堀ウツりキ石炭のうらより石と出イり皆本紋モノりり  
 松林マツノキの化カ石イシとありあるに石炭ハ山の傍ナリより出る細根山神代  
 杖ツヅの所トコロ林ハヤシ地チ中に埋ウツれ石イシ化カり磯イソ黄ワウのまきとほしモシ焼ヤクり  
甚臭氣ハク油ト  
磯黄ハク油ト  
甚臭氣ハク油ト  
磯黄ハク油ト  
 本紋モノりり石炭のうらより石と出イり皆本紋モノりり  
 本屋モトヤの形カタ長崎ナガサキへの西ニシ修シユり是コトよりヨ出イり出イり中倉ナカクラ  
 小倉コクラより三里海ミサトとりり即スナチ下関シモノセキ赤間アカマ





廿一日下関より船を乗る西風吹て  
 里奴和と云ふ山あり船をうける人家十八あり又西風  
 に帆を上げて蘇州の内海に流るる山あり船をうける  
 海岸人家あり廿三日出帆一備後の鞆より船を  
 乗る福山の船地人家八九あり船は往來を待て渡  
 せしむるに河内を渡る廿四日曉帆を揚げて廿五  
 日をこえし七時備後の牛宮に到り岡山の領地此より船をうける  
 陸地をりし七里備後の山あり二月十九日岡山を渡り  
 藤井一市吉井川を渡り伊部斤上八木山をこえ三石有年

西遊記





此方甚なる山中あり有子川舟渡正東如加吉川より大庄保  
 此間中町一里あり程より明石舟渡正東如加吉川より大庄保  
 終景也兵庫に補正成乃墓河山江入布引の所  
 一村梅村あり其比程より程雪のふり生田の社には来  
 比五より程より麻多郎山之登也  
 是より大坂へ五里二月廿三日浪華新報は程より地田  
 路より廻池田の里は程池田より程町四五街  
 皆通る程より一里程より多田の社を温泉地へ  
 廿四日多田を出て深谷へ入る尾山に程より深谷へ程より

船中又東に舟を舟の流に以て流の右山にのりて其橋  
 石をよぢて越る勝尾寺觀音堂より西三十三所の礼所より  
 山上より大坂の方と申す五里を遙に城見ゆ夫より山を  
 山田の方より此より西流に河ふれに食店より河と二船舟を  
 渡す一は長良の渡と云流るゆき大坂へ入  
 二月廿八日浪華をゆく岡崎と越る伏見の方より伏  
 見豊後橋より京町をゆく所此裏手は畑より  
 畑の傍に梅畑を多極方六町より桃山と名づく吉原良  
 の方より流る大和流と云畑は諸侯の名に存せり

宇治見臺より此流る古の城内庭の跡と云す山をゆく  
 湖中に堤あり小倉堤と云垂吉此堤に築本良より宇治  
 を廻り遠より堤三町より岸に楊柳多し柳より此堤を  
 臺より申す左の方宇治の里宇治川流る向は長良山見  
 遠に金剛山吉野山見ゆ右に岡崎モロ木山八幡山と申  
 湖中海舟將來と邊一堤の半に渡村あり此は桃の花  
 内より一は香山と申す  
 里の深の里遊亭より此流る寺に墨原橋より檀  
 町今入つるに遊色のあり



西遊記 卷之五

八幡山  
 八幡山  
 八幡山

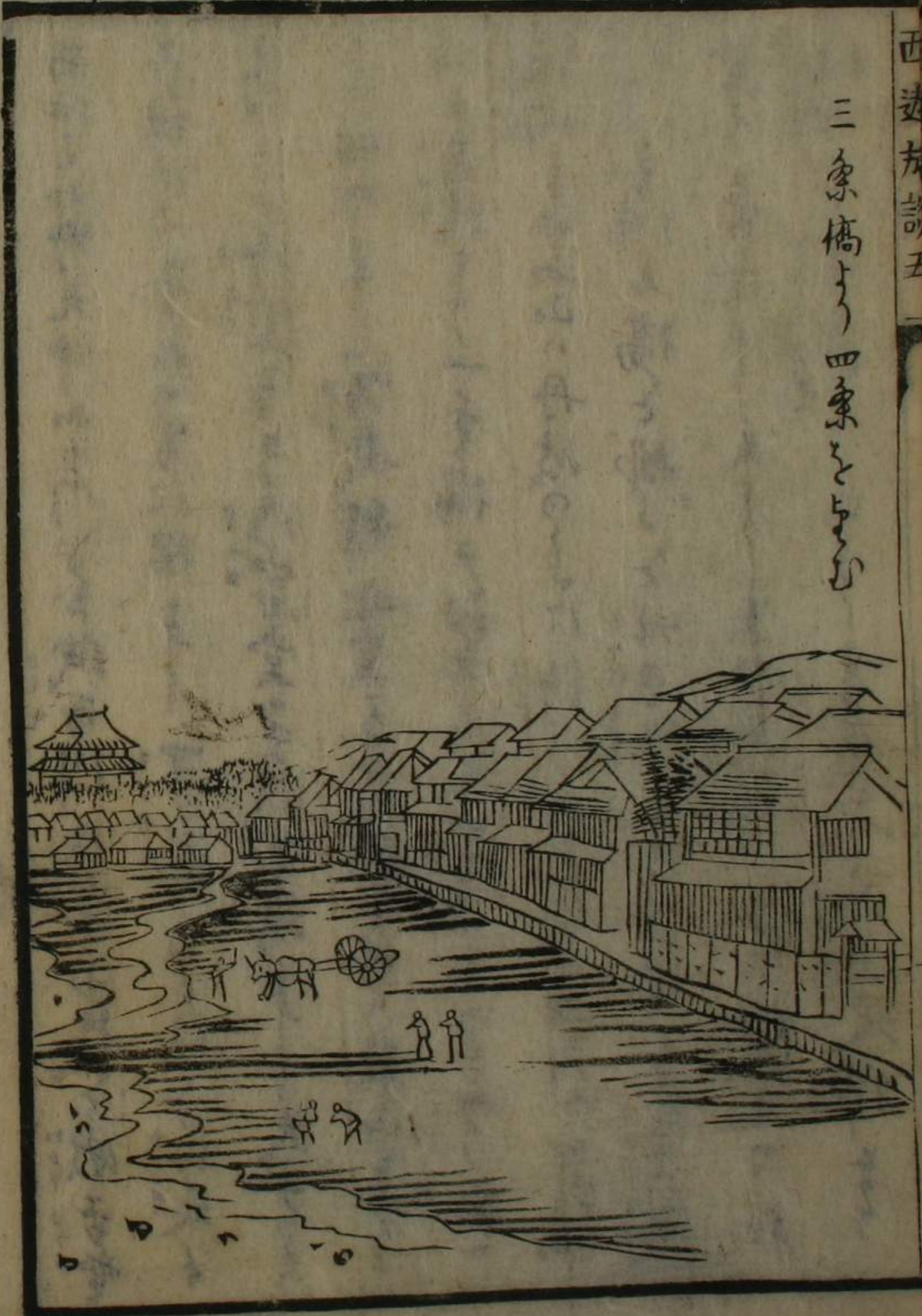
三月朔日宇治の方より伏見御幸の宮のありては桃山の下城迄  
左にふるく六地を越へ木幡村として美原山家福寺ハ唐僧  
隆元禅師影應の以創主も大伽藍ありとれり三室  
堂橋寺恵心寺大寺良れ方春山大佛殿興福寺郡山  
の方より法隆寺立田の迄吉野の方ありとすは是と  
大和廻より古蹟多し諸人の知所なるに不載され  
たりあり物に数日留れたる所多しありあり  
略々四糸極よりワケ川東山の方より祇園町遊亭  
と祇園の社夫より八坂の塔より清水親善の方よりあり

西北より野天神水の門と玉紙川は山後と瀬戸の  
乃社よりを右の手に極多し 予察多し社に再表々  
東のより御室より法皇堂のあり極多し夫より  
二十餘町より嵯峨釋迦堂より七ヶ所をゆく山嵐山あり  
杉の本谷より一重橋を渡り大井河とのあり東ハ  
桂川より山丹波の手に續りその間に茶店と和食  
あり河の橋を掛ると吐月橋と名づく橋あり虚空蔵  
堂より茶店より夫より東の方ゆるき路松尾の社  
梅宮より甚奇ありありとありとありの人稀あり

西遊記



三原橋より四原とていふ





藏空堂



移る桂の波千本通より此系女の方より東寺に弘法  
 大師の像此の終る開帳なり三月廿一日諸人未だ  
 ハ千手観音法堂ハ堂師を多し此寺甚く大伽藍なり  
 一と仁の法焼く門有西本願寺又本國寺の前を  
 西南の冷外を廻りし水の方ハ殿山近江國  
 布衣賀茂時人の志ありぬ



三月廿八日近江國  
 鈴鹿山をこり  
 筆捨山景色  
 残花

四月  
 美濃  
 西本願寺  
 本堂



入即  
 宿  
 大井  
 寺あり  
 堂  
 地  
 岩上

上ガダケ  
胞衣ヶ嶽  
雪々白  
此ふくし五里  
九月十一日  
五里ヶ嶽  
乗鞍ヶ嶽  
小方御嶽  
加賀國白嶽  
又右方駒ヶ岳  
皆雪峯也



十解峠一里廿五町アリ  
峠ハ馬籠宿也









稻川橋 野尻須原の方  
 底へ岐岨川へ入

雪峰



四月十日浅間山の峰とて四十七路幸ひて此山焼かす事あり  
 焼石は皆大石とて色は黒く新し又七年の山焼かす事あり  
 深き坂本碓氷峠の山焼石とて樹木枯少なり此地  
 幸ふ松林すくなく松多し又杉の木多し上州妙義山  
 幸ふ方より山に山ありて鬼を多し

一里餘きくや  
 岩少きふ二ツノ穴と  
 一ツ穴つゝぬきし目と  
 又、百人合する大目射  
 ぬきの穴と云



妙義山岩峯  
 画事不終



十二日深谷より熊谷宿より堤<sup>ドテ</sup>に午町より<sup>サイカチ</sup>角<sup>カク</sup>の  
 樹<sup>キ</sup>あり右の方相州大山又富士山又<sup>シ</sup>四月十三日大  
 宮より板橋より<sup>ケウリ</sup>郷里<sup>シンセンガ</sup>神僊<sup>カミ</sup>に<sup>カミ</sup>つた

寛政庚戌四月 門人蘭江平民誌

江漢先生著

卷之五

春波樓藏版目錄

- 一 銅版地球全圖 并畧說一冊添 出来
- 一 銅版東都八景 暨一尺余横一尺三寸余の  
のきき目がねりき繪 出来
- 一 銅版天球之圖 并天文畧話一冊添  
皆天地窮理ヲ譯ス 出来
- 一 銅版地球大全圖 今圖を合するとして  
三尺の圓圖なり 并萬國風土考一冊添 近刻
- 一 春波樓画譜 本版及銅版にて山水人物花鳥と圖と 近刻
- 一 和蘭奇工 銅版の彫方及すの法を解阿奇工画  
の法より力<sup>カ</sup>を<sup>カ</sup>天文の器<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>和蘭  
奇器の製法と圖とにて<sup>カ</sup>奇<sup>カ</sup> 近刻

一 論 外 國 全 國 并 其 年 月 日 記  
一 論 外 國 全 國 并 其 年 月 日 記  
一 論 外 國 全 國 并 其 年 月 日 記  
一 論 外 國 全 國 并 其 年 月 日 記  
一 論 外 國 全 國 并 其 年 月 日 記  
一 論 外 國 全 國 并 其 年 月 日 記  
一 論 外 國 全 國 并 其 年 月 日 記  
一 論 外 國 全 國 并 其 年 月 日 記  
一 論 外 國 全 國 并 其 年 月 日 記  
一 論 外 國 全 國 并 其 年 月 日 記

浪華書林 前川文榮堂藏版書目

心書 河内屋源七郎

女中庸 兩編 全一冊

此書は... 先生... 中庸... 女... 全一冊

嘉永 大成無双 節用集 大 全一冊

大世... 節用... 大成無双... 全一冊

大學小解 全一冊

大學... 小解... 全一冊

算法 統古 全一冊

算法... 統古... 全一冊

女徒然 錦文庫 全一冊

女徒然... 錦文庫... 全一冊



俳諧季寄に採袋

凡例... 採袋... 全一冊

俳諧名所談句集

色道其角... 俳諧名所... 全一冊

相法秘受解

相法... 秘受解... 全一冊

木朝竹并鑑

相法... 木朝竹并鑑... 全一冊

井田高説

井田高説... 全二冊

小兒醫療手引

小兒醫療手引... 全三冊

板元

河内屋源七郎

發行

江戸日本橋南壹丁目

須原屋茂兵衛

同 二丁目

山城屋佐兵衛

同 二丁目

須原屋新兵衛

同 芝神明前

岡田屋嘉七

同

和泉屋吉兵衛

同 淺草茅町二丁目

須原屋伊八

同 兩國横山町壹丁目

出雲寺萬治郎

同 下谷御成道

紙屋徳八

尾州名古屋本町三丁目

菱屋藤兵衛

大坂心齋橋通北久寶寺町

河内屋源七郎板

書肆

